



世界へのプレゼントになろう



Be a gift to the world

Governor's Monthly Letter

2015-2016
Vol. **12**

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

国際ロータリー第2550地区

ガバナー月信

6月号 June



紫陽花の微笑み

contents

ロータリーレート/1\$=110円

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| ● ガバナーメッセージ 1 | ● コーディネーターニュース 7 |
| ● 感謝状の贈呈 (台湾南部大地震の義援金) 4 | ● ロータリー財団および米山記念奨学会功労者 8 |
| ● YLS 報告 4 | ● 新入会員 8 |
| ● 2016 年規定審議会報告会 5 | ● 第2550地区4月会員増強・出席報告 9 |
| ● 青少年交換委員会 6 | ● インフォメーション 9 |



ロータリーの目的

The Object of Rotary

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある

- 第 1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第 4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

THE 4-WAY TEST

言行はこれに照らしてから

- 1. 真実かどうか？
 - 2. みんなに公平か？
 - 3. 好意と友情を深めるか？
 - 4. みんなのためになるかどうか？
-

ガバナーメッセージ



一年を顧みて —感謝をこめて—

2015—16 年度
国際ロータリー第 2550 地区ガバナー

なか や けん いち 中 谷 研 一 【足利東】

Kenichi Nakaya

皆さんへ送る最後のメッセージを書いています。一年という、長いようで短かった時間を今しっかりかみしめています。昨年 1 月に開催された国際協議会で、K.R.ラビンドランRI会長エレクトは「私たちに与えられた時間はわずか一年間しかありません。この一年間に、皆さんの英知を結集して世界のプレゼントとなって下さい。」という強いメッセージを送られました。今、この一年の旅の終わりに、「一年はあまりにも短い」という言葉が頭をよぎります。

国際協議会より帰国後、諮問委員会、地区運営委員会における帰朝報告から始まり、ガバナー公式訪問（Governor's Official Visit：GOV）日程調整、地区大会実行委員会設置及び実行委員会協議開始、会長エレクト研修セミナー（President Elect Training Seminar：PETS）、地区研修協議会（District Training Assembly：DTA）、台湾・フィリピン訪問及び同期地区ガバナー・エレクト（District Governor Elect：DGE）との協議会開催、フィリピン第3860地区タクロバン訪問及び支援策協議と毎日が戦争の様に慌ただしく過ぎ去っていきました。

この年度を振り返ってみますと、多くの反省とやり残した事が頭をよぎります。まず、今年度初日である7月1日には毎年恒例のガバナー、元ガバナー・次期ガバナー懇親会が高輪で開催され、翌7月2日より今年度のGOVを開始しました。GOV に関しては、我が足利東RCの仲間による公式訪問における移動のサポートが行われ、事故もなく順調にDOVを進める事ができました。5月号のガバナー月信（Governor's Monthly Letter：GML）でも記載しましたが、全ての

クラブで会長・幹事様をはじめ多くの会員の皆様に温かく迎えられGOVの当初の目的を果たす事ができました。また当地区では初めて、ソウル国際大会においてガバナー・ナイトを開催し、270名を超える多くの会員の皆さんと共にソウルの地で楽しいひと時を持つ事が出来ました。一年間にわたり皆様から頂いたご支援、ご協力に改めて心より感謝を申し上げます。

ところで話題は変わりますが、皆さんは1989年ケビン・コスナー主演で公開された“Field of Dream”という映画を覚えていらっしゃるでしょうか？映画やDVDで鑑賞された方は多いと思います。この作品は、私にとっても非常に感動を覚えた映画の一つです。少しこの映画について、お話をしようと思います。主人公レイ・キンセラ（ケビン・コスナー）は心の中に“If you build it, he will come（それを作れば、彼が来る）”という言葉聞きま。彼は家族の支持のもと、生活の糧であるトウモロコシ畑を切り開き、小さな野球場を作り上げます。その後ある日の晩、彼の娘が夕闇の球場に動く人影を見つけます。そこにいたのは“ブラックソックス事件”で球界を永久追放され、失意のうちに生涯を終えた“シューレス”ジョー・ジャクソンでした。米大リーグ（Major Baseball League：MLB）のお好きな方は既にお分かりかと思いますが、“ブラックソックス事件”とは、1919年ホワイトソックスとレッズの間で行われたワールド・シリーズにおいて発生した八百長事件をさします。

*“ブラックソックス事件”では、シカゴ・ホワイトソックスの選手8名がMLBより永久追放となりました。この事件の背景には、客嚮家（りんしょくか）

ガバナーメッセージ



であり球団の収入を選手に分配する事まで惜しんで蓄財した球団オーナーの存在がありました。そしてこの様な吝嗇家の球団オーナーは何ら処分されることがなかった事から、追放を受けた選手8人に世間の同情が集まり、「悲運の8人（アンラッキーエイト）」と呼ばれ悲運のヒーローとして世間から美化されました。この中の1人に“シューレス”ジョー・ジャクソンがいました。彼は、この8人の中で最もファンから愛された選手でした。ジョー・ジャクソンは、当時のMLBを代表する大打者で、マイナーリーグ時代に裸足でプレーしたという逸話から“シューレス・ジョー”という愛称を持つスター選手でした。

この映画の中、主人公レイ・キンセラは土地購入等で借金をし、その返済を迫られながらも何とかトウモロコシ栽培で生計を立てていました。主人公は心の中で聴いた言葉に確信を持ち、家族の支持を得て、周囲の嘲りにも屈せず貴重な収入源であるトウモロコシ畑を野球場に改装する事で映画のストーリーが進行し、天の声を信じた主人公の周りに奇跡が起きるという設定です。ここで皆さんにお話をしたかった事は、この映画の主題となっている「信じて進む(行動する)勇氣」という事です。今私たちにとってこの勇氣がいかに必要か。なぜならばその中にこそ、私たちが考えなければならない重要な課題が隠されていると考えられるからです。私たちは「賢くなり過ぎた」のかも知れません。「先の見えない世界に触れるより、現状維持でいる方が無難である」、「危ない橋は渡らない方がましだ」と考える方もたくさんいらっしゃるでしょう。確かに、いろいろな意見があると思います。K.R.ラビンドランRI会長は国際協議会で、「私たちに与えられた時間はわずか1年間です。この1年間に皆さんの英知を結集して、Be a gift to the world を実践して下さい。」というメッセージを世界中のロータリアンに向けて発信しました。この一年間、皆様の活動はいかがだったのでしょうか？今年度に計画された活動は充分達成出来たのでしょうか？昨年実施された会長エレクト研修セミナー（President Elect Training Seminar：PETS）「や

DOVで51クラブの会長や皆様に多くの事をお話させて頂きました。そして、今年度最終日となる6月30日には、「今年度は大変な年だった。でも疲れたけれど、今年は例年と違ってこんな事ができた」と友と互いに肩をたたき合い、健闘を称え合いましたと皆さんとお約束を致しました。ロータリー活動はRIの活動でもなければ、地区の活動でもありません。ロータリークラブそしてロータリアン1人1人が実践していくべき活動です。ではロータリーとはいったい何だったのでしょうか。その答えは、決議23-34に述べられています。ロータリーは人生哲学です。ロータリーとは、「超我の奉仕」の哲学であり、自他と利他のはざまでせめぎ合う心の葛藤の中で学ぶ事です。「他人を思いやり、他人のために尽くそうとする」ことこそ私たちがロータリーの中で目指してきたものではないのでしょうか。そしてもう一つ私たちが忘れてはならない事があります。それは、この哲学が「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践理論の原則に基づくものであるとされていることです。この実践理論こそが正に「職業奉仕」の理論にほかなりません。私たちロータリアンにとって、「超我の奉仕」とともに「職業奉仕」のもつ意義は計り知れないほど重要であります。だからこそ私たちは、ロータリーにおける職業奉仕の持つ意義について充分な理解が必要という事になります。この「職業奉仕」の原点は、皆さんご承知の通り「アーサー・フレドリック・シェルドン」（1908年シカゴRCに入会）が1902年に設立したシェルドン・ビジネス・スクールの経営理論そのものでした。経営理論そのものであり、決して精神論的な意味を持つものではありませんでした。しかし幾多の時代を超え、いつしか私たちには精神論を基盤とした「職業奉仕」に形を変えて伝えられて来ました。「職業奉仕」が難解なものとなってしまったのは、この様に精神論的要素が入り込んでしまった結果との意見が主流です。

私たちは今一度ロータリーの原点に立ち帰り、1人

ガバナーメッセージ

1人がロータリーを理解し、信じて行動する事が必要です。こんな言葉があります。“Where there's a will, there's a way（意志あるところに道は開く）”と。これは、アメリカ合衆国第16代大統領リンカーンの残した言葉です。大切なことは、失敗を恐れず私たちが行動する事ではないでしょうか。自ら信じた事を、信念を持って行動する事により皆さんの心の中に何かが起こるはずです。是非皆さん1人1人が信じる途を歩み、皆さんの手でロータリーを通して社会に奇跡を起こしてください。

私はロータリーに入会以来、その多くの時間をフィリピンにおける無料医療奉仕活動に費やしてきました。いつか詳しくお話をする日が来るかもしれませんが、若き日に医師免許書を取得したことの重みを感じながら、医師としての理想と責任を迫及しそして夢を追い続けた結果、私に与えられた活動はこのフィリピンにおける無料医療奉仕活動でした。活動を始めた当時、医師会のある先輩の先生から何と言われたか…。今まで一度たりとも忘れた事はありません、「いつまで馬鹿なことを続けるのか。真面目に働けば、「もっと豊かになれるのではないか」と。「豊か」とはいったい何を指し示すのでしょうか。明日買う米に不自由する事もなく、決して素晴らしい豪邸ではありませんが雨風をしのぐに足る家があり、家族が集う団欒がありました。

「豊か」とはいったい何を意味するのでしょうか？

そしてこのフィリピンにおける活動も25年という年月が過ぎ去ってしまいました。無料医療奉仕活動から始まり妻と共に歩んできた世界社会奉仕活動も今は、足利東RCの仲間と共に、性的虐待を受けた女子の社会復帰プログラム、識字率向上のための「未来に希望子ども図書館」維持プログラム、次世代を担うインターアクターやローターアクターの交流プログラム、環境保全のためのマングローブ植樹プログラム等多くの活動を行う運動に成長してきました。この25年の時間の中で、多くの人が集まり多くの人が去っていきました。そして気づくと時に道標もない途に一人

で立ち尽くす事もありました。

しかしたとえ漆黒の谷を彷徨とも、雨のやまない日は、太陽の光が射さない日はないはずと信じて努力してきました。その結果、フィリピンでも日本でも、実に多くの理解者を得る事ができ、今日まで活動を継続する事ができました。私たちはロータリアンとして、「奉仕するものは行動をしなければならない」とされています。是非もう一度、皆さんお一人お一人が考えてみて下さい。私たちが、ロータリアンとして何をすべきか。今、RIは大きな変革の時を迎えています。是非時に流されず、心あるロータリアンとして信念と勇気を持って立ち向かって活動をして参りましょう。

今、その時がやって来ました。ここに集う全ての心ある友と、短い時間でしたが時を共有し活動をする事ができました。大変ありがとうございました。皆様から頂いたご支援、ご協力に心より深く感謝を申し上げます。今後は一人のロータリアンに戻り皆さんと共に更なる努力を重ねる事をお誓いし、心静かに筆を置くことと致します。

いつかどこかで必ず、再び皆様と共にスクラムを組み、共に汗を流し活動する日が来ることを楽しみにしております。ありがとうございました。

皆様に感謝をこめて…。

And now, the end is near,

And so I face the final curtain.

My friend, I'll say it clear…

F・SのMy Wayを聴きながら

感謝状の贈呈（台湾南部大地震への義援金）

6月5日に金沢で開催された第5回日台ロータリー親善会議におきまして、台湾南部地震の第2550地区の多額の義捐金をいただきましたことに対して、プログラムの台湾側の近況報告の中で「感謝状の贈呈」が行われました。地区を代表して頂戴しました。



YLS報告

ROTEX(2012-13台湾3510地区派遣 黒磯RC推薦) 磯 杏子

私は、今回韓国で行われた世界大会に5月27日～6月1日の6日間、同期のRotex増田 碧さん（フランス派遣 足利わたらせRC）、森 紗恵子さん（タイ派遣 宇都宮北RC推薦）と共に、参加させて頂きました。この世界大会ではいくつもの企画があり、私はその中のYoung Leaders Summit（以降YLS）に参加しました。

YLSには世界中から主にローターアクトやローテックスの方が参加されていました。この企画では世界を舞台に活躍されている方のお話を聞いたり、韓国の文化体験をしたり、ボランティアをしたりしました。その中でも印象的だったのがDMZ（非武装地帯）Tourでした。

北朝鮮と韓国との境界を目にして、常に緊迫した状況

であることを肌で感じました。今回このツアーに参加したり韓国の兵役の話を知ったりして平和とは何かを考えさせられました。

YLSではみんなで一緒に行動することが多く、いつの間にかたくさんの友達が出来ていました。今まで会ったことの無かった国の人と知り合えて、私の知っていた世界はまだまだ狭いと感じました。これからも色々な活動に参加して沢山のひとと知り合い、自分の世界を広げていきたいと思います。

最後に、YLS参加にご支援を下さったパストガバナー飯村慎一様をはじめ、今回このような機会を与えてくださったロータリーの皆様に深く感謝申し上げます。短いですがYLSの報告とさせて頂きます。



2016年規定審議会報告会

2016年規定審議会が閉会し、ロータリー史に残る多くの重要な決定が行われました。

今回の審議会では、例会スケジュールや会員身分に関してより多くの裁量をクラブに委ねる立法案や、3年にわたって4ドルずつ人頭分担金を増額する立法案が採択されました。この増額による収入は、ロータリーウェブサイトを含むオンラインツールの改良と、クラブにおける会員増強を支えるプログラムや業務提供のために使用されます。

ロータリーのガバナンスにとって重大な決定を行う規定審議会は、3年ごとにシカゴで開催され、世界中から集まる代表議員がロータリーの組織規定に変更を加える立法案を審議します。審議会で採択された変更は、7月1日より有効となります。

今回の審議会は、柔軟性を増加する案件に多くの注目が集まりました。一つは、クラブが月に少なくとも2回以上の例会を行う限り、いつ、どのくらいの頻度で例会を開くか、あるいは例会をキャンセルするか、また何をもって例会とするかについて、より多くの裁量をクラブに与えるものです。もう一つは、会員身分について新しい試みができる柔軟性をクラブに与えるものです。これらの案件はいずれも採択されました。

代表議員はまた、RI定款から会員資格6項目を削除し、「職業上および（または）地域社会でよい評判を受けており、地域社会および（または）世界において奉仕する意欲のある人」という簡潔な会員資格に変える案件も採択しました。

人頭分担金における年4ドルの増額は、増額または抜本的なコスト削減をしないと、2020年までに一剰余金が必要レベルを下回るとする財務5カ年計画を基に決定されました。この決定により、人頭分担金は2017-18年度に60ドル、2018-19年度に64ドル、2019-20年度に68ドルに増額されます。それ以降の年度の額については次回の規定審議会で討論されます。

グレッグ E. ポッドRI副会長は、「現在の枠組みを越えて、ロータリーの未来について考えなければならない」と述べ、人頭分担金による収入が増加すれば、My

ROTARYを改良し、会員増強を支えるリソースをクラブに提供し、クラブと地区の報告を簡素化し、ローターアクターもウェブサイトを活用できるようになり、変化する世界の標準に合わせてシステムを修正することが可能になると説明しました。

規定審議会では、上記のほかにも重要な決定がなされました。

- 毎年オンラインで開催する決議審議会の創設が承認されました。決議審議会ではRI理事会に提出する決議案の検討が行われることとなり、これにより、3年に1度開かれる規定審議会では、ロータリーの組織規定に変更を加える制定案に集中して審議することが可能となります。3年任期で選出される代表議員は、決議審議会に毎年出席し、最後の年に規定審議会に出席します。本件の提案者は、この変更に伴い規定審議会を1日短縮できれば最大30万ドルの費用削減につながるとの予見を発表しました。
- ローターアクターが同時にロータリークラブの正会員となることを認める制定案も採択されました。本件の提案者は、30歳という年齢上限を迎える前にローターアクトを去ることに消極的なローターアクターが多いため、ロータリーに入会するローターアクターが極めて少ない（5%程度）ことを主張しました。より多くの選択肢をローターアクターに与えることで、多くの資格ある若いリーダーにロータリー入会への道を開けるようになることが期待されます。
- 従来型クラブとEクラブに区別をなくす立法案が採択されました。これは、クラブが既に多様な方法で柔軟に例会を開いており、従来型とEクラブを区別する必要がないと判断されたためです。ただし、クラブ名に“e-club”（Eクラブ）が入っているクラブは、その名称を維持できます。
- 細則から入会金への言及箇所が削除されます。本件の提案者は、入会金への言及は、ロータリーの現代的なイメージを促進するものではないと主張しました。
- 会員増強が組織の最優先事項であることを認識し、会員増強の常設委員会が設置されました。また、ポリオ撲滅が最優先される目標であることが再確認されました。

「My Rotary 規定審議会の決定概要より引用

記事：Arnold Grahl

青少年交換委員会

本年度の受入学生も一年間のプログラムを無事終了し帰国する季節になりました。受入をしていただいたホストファミリーの皆様、クラブの皆様一年間ありがとうございました。また来年度も6人の学生が各国へ出発する運びとなりました。それぞれの国で貴重な体験をし、成長した姿で無事一年後帰国する事を心よりお祈り致します。



2015-16 年度 受入学生

氏 名	受入クラブ・学校名	出身国・地区
Chin-Han KO	第1グループ 大田原 RC 黒磯南高等学校	台湾 3470 地区
KOHEN,Sofiane	第3グループB 宇都宮南 RC 宇都宮南高等学校	フランス 1520 地区
GERE,Laureen,Marie	第4グループ しもつけ RC 宇都宮南高等学校	フランス 1720 地区
Ana Luiza Velloso JACOME	第8グループ 足利西 RC 足利女子高等学校	USA 6980 地区

2016-17 年度 派遣学生

氏 名	推薦クラブ・学校名	派遣国	氏 名	推薦クラブ・学校名	派遣国
五十嵐優衣	足利東 RC 足利女子高等学校	アメリカ	早乙女瑠美	鹿沼 RC 國學院栃木高等学校	タイ
松村 一慶	佐野 RC 國學院栃木高等学校	フランス	斎藤 颯汰	栃木西 RC 鹿沼高等学校	イタリア
原 瑞果	宇都宮北 RC 宇都宮文星女子高等学校	台湾	鈴木 千絵	宇都宮 RC 宇都宮女子高等学校	タイ

—熊本地震被害義援金送金報告—



先日皆様へ呼びかけました熊本地震災害義援金ですが、
地区内クラブの皆様より 260 万円が集まりました。

ロータリー熊本地震総合支援室 ガバナー 野田三郎へ送金し、
お渡しすることが出来ました。

皆様の温かいご協力に感謝して報告とさせていただきます。

有難うございました。



3年目のロータリーコーディネーターを終えるに当たり

第2ゾーン ロータリーコーディネーター 金 杉 誠

国際ロータリーは2010年に会員数の伸び悩みを打破すべく戦略計画を策定し、その計画に基づき諸施策を実行してまいりましたが、残念ながらこと会員数に関する限り未だ十分な成果を上げたとは言えません。勿論私自身コーディネーターとしての実力不足、努力不足を反省しなければいけないのですが、最後に感じたことを申し述べたいと思います。

そもそもロータリー活動と言うものは本質的に自発的なものであり、強制されるべきものではないので、クラブには大きな自主権が認められております。CLPにせよ、クラブ戦略計画にせよ、実行しなければロータリークラブとして認めないということではない、むしろ本年度の規定審議会の結果を見れば、クラブ自主権は拡大される方向にあるとも言えます。

では会員増強の為にどうしたら良いのかと言えば、「我々は何故ロータリアンであり続けるのか？ロータリーの魅力とは何か？」という設問に対しての、地区やクラブのリーダーの皆様方の発信力を磨くということに尽きるのではないかと思います。上記の設問に対するしっかりとした回答を、地区やクラブの皆様方お一人お一人に良くお考えいただきたい、そしてそれをしっかりと集約をして頂きたい、それが地区やクラブの戦略計画策定の最大の目的なのではないかと思います。

得てして日本人は保守的な傾向が強い、そして「和をもって尊しとなす」に表されるように突出した意見や急激な改革を好まない傾向があるように思われます。もちろんその良さもあるのが日本の社会ではありますが・・・。現在のような少子高齢化や、中央一極集中が急激に進展し、格差が開いてきている状況では、いつまでも前例踏襲では困るのではないのでしょうか？前例踏襲を打ち破るためにもリーダーの皆様方の徹底した話し合い、即ち戦略計画策定が必要なのではないのでしょうか？

良く考えますとこの問題は決してロータリーだけの問題ではない、むしろ今の経済社会状況の閉塞感を考えれば、日本全体の問題ではないかと思う次第であります。もともとロータリーはその特徴的な「職業奉仕」の精神によって、日本の経済社会に与えた良い影響は大変大きいと思います。そのように考えていくとき、ここにこそ日本のロータリーの進むべき新しいフロンティアが見えてくるような気がしてなりません。曰く、若者や女性や退職高齢者の入会を促し、地方やわが町を活性化するために努力し、より合理的で生産性を向上させて少ない会費で効果を上げる、これはそのまま、一億総活躍社会の実現であり、地方創生運動であり、生産性の向上による経済の活性化であります。つまるところ、ロータリーにせよ、日本全体にせよ、求められるのはイノベーションであります。私たちが社会に対して負っております責任を思い起こし、ロータリーの再興と日本社会の再興に向かって立ち上がろうではありませんか！その為にはクラブのお一人お一人の勇猛心を期待して最後のご挨拶したいと思います。長いこと有難うございました。



ロータリー財団および米山記念奨学会功労者

ロータリー財団および
ロータリー米山記念奨学会
功労者の皆様ご厚意に対し、深く感謝申し上げます。
(2016年1月～4月)

ボール・ハリス・フェロー

細井 達也	今市
鈴木 勤	鹿沼東
星野 昌司	小山中央
岩永 喜博	馬頭小川
塩澤 雄二	馬頭小川
石塚 龍夫	真岡
金子 正男	真岡
三澤 幸光	真岡
齊藤 敏彦	真岡
菊池 文江	塩原
菊地 正幸	宇都宮東
向井 重光	宇都宮東
近藤 隆彦	足利西
酒井 淳	益子
上野 法忍	小山東
小浦 正久	小山
恩田 勉	佐野東
畑 剛司	宇都宮
熊本 勇治	宇都宮
関 雅樹	宇都宮
川人 健司	宇都宮陽東

マルチプル・ボール・ハリス・フェロー

栃木 秀麿	足利わたらせ	8回
大島 知	鹿沼東	1回
関 克美	小山東	1回
手塚 一雄	小山東	1回

滝沢 重雄	小山南	2回
神山 宜久	小山南	3回
高橋 直喜	小山南	3回
皆藤 美實	宇都宮東	8回
木村 透	馬頭小川	2回
海老原 均	真岡	1回
宇賀神裕一	真岡	1回
福原 一郎	真岡	3回
篠原 泉	真岡	4回
篠原 宣之	真岡	4回
杉村 久夫	真岡	4回
今泉 臣夫	宇都宮東	3回
菊地 宏章	宇都宮東	3回
佐藤 節	宇都宮陽北	4回
富田 兵哉	益子	3回
塚原 勉	小山	3回
天川 主税	宇都宮陽東	1回
岩村 隆之	宇都宮陽東	1回
阿部 健三	宇都宮陽東	2回
橋本 正行	宇都宮陽東	2回
高山 實	宇都宮陽東	2回

米山功労者

前田 裕之	鹿沼東	1回
福田 優	鹿沼東	1回
山崎 順	鹿沼東	2回
大島 知	鹿沼東	2回
吉村 繁	鹿沼東	3回
池田 富雄	真岡西	1回
樋口 昂亮	真岡西	4回
長谷川 潤	田沼	7回
飛田 佑子	日光	1回
岩本 悦子	日光	1回
高橋 一精	日光	3回
横川 恵	栗野西方	1回

池澤 達夫	栗野西方	1回
成田 幸弘	宇都宮90	1回
小林 恒夫	宇都宮90	3回
飯村 慎一	宇都宮90	6回
渡邊 征夫	宇都宮90	6回
関口 忠史	大田原	1回
長嶋 一郎	大田原	2回
橋本 憲一	大田原	8回
人見 誠彦	大田原中央	1回
安田 香織	大田原中央	1回
鈴木 俊貴	大田原中央	3回
大村 一夫	氏家	2回
小山 研一	氏家	2回
阿部 孝憲	氏家	3回
佐藤 宣人	氏家	3回
吉成 容一	氏家	3回
小浦 正久	小山	2回
中尾 聡	小山	2回
岩崎 晴一	小山	5回
田川 宗定	小山	5回
山本 勝	小山西	1回
塚田 宏司	栃木西	9回
白相 淑久	馬頭小川	1回

米山功労クラブ

宇都宮	41回
佐野東	17回
大田原	35回
大田原中央	8回
小山	30回

米山功労法人クラブ

2550地区米山学友会

新入会員

お がわ かず ひろ
小川 一 弘今市RC
有限会社 小川工務店
専務取締役

平成28年1月27日入会

未熟者ですが、よろしくお願い致します。

う ち や ま かなめ
内 山 要今市RC
株式会社 足利銀行
今市支店 支店長

平成28年4月6日入会

ロータリーの理念に従い真摯に活動いたします。

み ず し ま ひ で き
水 沼 秀 樹宇都宮北RC
日本生命保険(相) 宇都宮支店
宇都宮中央営業部 営業部長

平成28年5月26日入会

はじめてのRC入会です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

第2550地区 4月会員増強・出席報告

分 区	クラブ名	例 回数	出席率		会 員 数								
			今月	平均	7月 1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性 会 員	
第1グループ	大 田 原	4	83.79	76.80	33	31	0	0	2	4	-2	1	
	黒 磯	4	88.23	92.90	41	40	0	0	0	1	-1	2	
	西那須野	4	86.70	88.12	39	37	1	0	3	5	-2	0	
	黒 羽	4	85.71	93.53	14	14	0	0	0	0	0	0	
	那 須	4	74.07	75.06	9	8	0	0	0	1	-1	2	
	塩 原	4	77.70	75.86	9	9	0	0	0	0	0	3	
	大田原中央	5	60.40	65.34	23	23	0	0	1	1	0	1	
第2グループ	烏 山	4	94.60	90.27	13	14	0	0	1	0	1	1	
	氏 家	4	75.00	76.94	22	23	0	0	3	2	1	0	
	矢 板	4	65.02	70.22	13	15	0	0	2	0	2	2	
	馬頭小川	4	83.75	92.09	18	20	2	0	2	0	2	0	
第3グループA	高 根 沢	4	87.60	89.75	15	15	1	0	3	3	0	0	
	宇 都 宮	4	70.20	66.05	100	104	0	2	11	7	4	0	
	宇都宮西	4	81.77	82.41	73	75	0	0	3	1	2	0	
	宇都宮北	4	81.67	82.81	48	49	1	0	2	1	1	0	
第3グループB	宇都宮90	4	88.23	91.19	44	43	1	1	3	4	-1	3	
	宇都宮陽北	4	85.76	80.68	33	36	0	0	4	1	3	3	
	宇都宮東	4	93.44	93.67	108	116	3	0	10	2	8	0	
	宇都宮南	4	83.06	84.17	46	51	2	0	6	1	5	1	
第4グループ	宇都宮陽東	3	61.00	76.12	45	46	0	1	3	2	1	3	
	宇都宮陽南	4	92.54	82.13	19	20	0	0	3	2	1	5	
	宇都宮さつき	4	82.29	84.48	25	24	1	1	2	3	-1	2	
	真 岡	4	93.43	94.10	50	51	0	0	4	3	1	0	
第5グループ	益 子	4	94.90	90.96	26	30	1	0	4	0	4	2	
	真 岡 西	4	87.70	89.33	39	42	2	1	4	1	3	4	
	しもつけ	3	94.10	93.67	34	34	0	0	0	0	0	8	
第6グループ	小 山	4	92.90	94.62	33	32	0	0	1	2	-1	0	
	小 山 南	4	93.30	93.94	23	20	0	0	1	4	-3	4	
	小 山 東	4	84.80	87.09	28	28	0	0	0	0	0	0	
	小 山 北	4	86.20	84.82	19	20	0	0	2	1	1	0	
	小山中央	4	88.33	75.74	30	30	0	0	0	0	0	2	
第7グループ	栃 木	4	79.50	77.98	41	43	0	0	2	0	2	1	
	栃 木 西	4	96.15	86.40	27	26	0	0	1	2	-1	0	
	壬 生	3	88.07	87.36	19	20	0	0	1	0	1	2	
	栃 木 南	4	87.30	87.43	35	35	0	0	0	0	0	7	
第8グループ	日 光	4	81.01	79.11	22	22	0	0	0	0	0	5	
	鹿 沼	4	71.31	74.28	62	62	0	0	3	3	0	1	
	今 市	4	38.57	78.01	43	44	1	0	3	2	1	0	
	鹿 沼 東	4	82.69	87.02	40	41	0	0	2	1	1	4	
	栗野西方	4	100.00	93.62	8	7	0	0	0	1	-1	1	
第9グループ	鹿沼中央	4	85.00	86.12	21	20	0	0	0	1	-1	1	
	今市きぬ	4	96.60	93.67	28	30	2	0	3	1	2	1	
	足 利	3	60.22	66.23	31	34	0	0	5	2	3	0	
	足 利 東	4	80.51	83.29	51	49	0	0	3	5	-2	5	
第10グループ	足 利 西	4	88.14	87.05	14	12	0	1	0	2	-2	0	
	足利わたらせ	3	88.70	89.11	31	31	0	0	0	0	0	0	
	佐 野	3	89.96	90.23	68	68	1	0	2	2	0	0	
	葛 生	3	93.10	89.83	35	34	0	0	2	3	-1	0	
第11グループ	田 沼	4	90.25	90.81	40	39	0	0	0	1	-1	0	
	佐 野 東	4	82.95	81.43	20	22	0	0	3	1	2	0	
	岩 舟	4	81.80	87.97	7	8	2	0	4	3	1	0	
	51RC		83.53	84.54	1715	1747	21	7	114	82	32	77	

インフォメーション information

文庫通信

344号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

- Rotary Magic 江崎柳節 D.2710月信地区大会特集号 2016 12P
- ロータリーにおける意志と信頼 ビチャイ・ラタクル D.2550地区大会記念講演 2015 43P
- ポール・ハリスとロータリー 諏訪昭登 2016 7P
- 入りて学ぶ奉仕の心 安孫子貞夫 D.2800月信 2016 4P
- ロータリーは円形ではない。楕円形である。 塚原房樹 D.2510月信 2016 1P
- 転轍手待望論 塚原房樹 D.2510月信 2016 2P
- クラブ定款は自分のクラブ独自のものか? 櫻木英一郎 D.2790月信 2016 1P
- ロータリーの目的 その1~4 深川純一 純ちゃんのコーナー PartXIV 2015 4P
- 決議 23-34 東大阪みどり R.C. ロータリーの歴史に学ぶ 2016 2P

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F

TEL03-3433-6456 FAX: 03-3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

編集後記

国際ロータリー第2550地区の皆様、1年間、お読みいただき有難うございました。自分自身では殆ど何もすることはなく、ガバナーを始め、たくさんの方からご協力をいただいたことに感謝申し上げます。毎月のガバナーからのメッセージ、主要委員長、ガバナー補佐の方針説明、各クラブの会長・幹事様のガバナー公式訪問報告と原稿をお寄せいただき、また、ガバナー事務所の永島様・渡邊様より、掲載記事の提供・アドバイス、原稿の校正と本当に助かりました。また、月信担当委員会内では、デザイン、構成を地齋委員、校正を鈴木「利」委員、國井委員が担当し、力不足の委員長を支えて下さったことに感謝申し上げます。まさに、ロータリーの『Fellowship』を体験した1年だったと思います。

本当に1年間有難うございました。

月信担当委員長 栗原 敏之

Rotary



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒320-0826 宇都宮市西原町142

宇都宮グランドホテル内

TEL. 028-651-2550 FAX. 028-651-2551

E-mail m2550@agate.plala.or.jp URL <http://www.rid2550.com/>